

上条 報告

第73号
平成27年6月

甲州市教育委員会
☎32-5076

重要伝統的建造物群保存地区

選定

このたび、上条集落が重伝建へ選定されること
が（ほぼ）決定しました。正式には、近く行われ
る官報告示を経て上条集落の重伝建が誕生するこ
ととなります。全国一〇地区目、山梨県内では
早川町赤沢に次いで二地区目となります。

皆様にご理解とご協力をいただくなかでひとつ
の節目を迎えることができました。この場を借り
て深く御礼申し上げます。

上条集落の保存はここからが本番です。重伝建
の選定を受けることによる大きな利点のひとつ
は、保存・整備に対する費用の補助を国から受け
ることが出来るようになることです。これにより
防災設備の整備のような大きな事業も執行しやす
くなります。また、上条集落の認知度が上がるこ
とも利点のひとつであると思います。上条集落の
すばらしい山村風景を多くの方に知っていただき
楽しんでもらえるよう整備を進めてまいります。

市では今回の選定を記念して「上条集落見学会」
を開催しました。当日は天候にも恵まれ多くの参
加者があり、皆様の熱心に説明に耳を傾ける様子
が印象的でした。今号では「重伝建選定」の話題
と「上条集落見学会」の様子を「紹介いたします。

「上条集落の文化庁の評価」

（文化庁の報道発表資料より抜粋）

「甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群
保存地区は、江戸時代中期から昭和にかけて
建てられた地域独特の形式をもつ民家がま
とまって残り、それらが周囲の畑地や自然環
境と一体となって、江戸時代以来の伝統的な
集落の形態を良くとどめており、我が国にと
って価値が高い。」

（文化庁の報道発表資料に掲載された写真）



「報道各社で重伝建選定のニュースが流れました！！」

重要伝統的建造物群保存地区に選ばれることが決まっ
た上条集落 甲州市塩山下小田原（撮影・広瀬徹）



国の重要伝統的建造物群 甲州・上条集落 保存地区に選定

重要伝統的建造物群保存地区に
選定される甲州市塩山下小田原
の上条集落



江戸後期から昭和期までの
切り妻造りの民家や畜舎など
が残る甲州市塩山下小田原の
上条集落が、国の重要伝統的
建造物群保存地区（重伝建）
に選ばれることが15日、決ま
った。国の文化審議会が同日、
下村博文文科科学相に選定を
答申し、近く正式に官報告示
される。県内の重伝建の選定
は早川町赤沢地区に続いて2
力所目。

選定が決まったのは上条集
落の約15・1秒。市中央部に
ある山村集落で、かつて養蚕
が盛んだったことを示す、突

き上げ屋根を設けた切り妻造
りの民家が立ち並んでいる。
傾斜地にあり、石垣や石段な
ども残っている。
文化庁によると、地域独特
の形式を持つ民家がまとまっ
て残っていて、周囲の畑や自
然環境と一体となって伝統的
な集落の形をとどめているこ
とが価値が高いと判断された
という。

市教委によると、重伝建に
選定されることで、建物の修
理や修繕に対し国から助成を
受けることができる。市教委
は選定を目指し、これまで保
存計画の策定や住民への説明
会などを進めてきた。

重伝建は、全国各地に残る
歴史的な集落や町並みのう
ち、意匠的に優秀なものや地
域の特色をよく表しているも
のを対象に選定する。全国で
はこれまで109力所が選ば
れている。

（横内史貴）
関連記事 24面

「上条集落見学会」

五月二十三日（土）に上条集落見学会を開催しました。新聞やテレビでも報道があったこともあり、当日は県内外より約八十名の参加者があり、皆様のご協力のもと盛況のうちに会を終えることが出来ました。ありがとうございました。

当日は、午前九時に福蔵院にてセレモニーを行い、清雲住職より福蔵院と木食白道作「木造百体仏」の説

明をしていただきました。見学ルートは福蔵院、金井加里神社、古道を通り、観音堂、情報館で休憩を挟み、集落を一周しました。今回の見学会では各所の歴史的な説明に加え、上条の重伝建選定のポイントなども交えながらご案内をしました。

参加者は、集落を一望できるポイントで写真撮影をしたり、規模の大きな主屋に驚く声もありました。

情報館での休憩では、ここを管理する山梨家並保存会へ依頼しお汁粉を提供していただきました。囲炉

裏で焼いたお餅とカマドで炊いた小豆がとてもおいしかったです。参加者の皆様からの評判も上々でした。

新緑のまぶしい上条集落をお昼までの三時間、ゆったりと楽しんでいただきました。



お祝いの声

多くの報道があったことを受け、見学者の受け入れのため、五月十六日（土）と十七日（日）は文化財課職員で福蔵院駐車場や観音堂にて案内をしました。土日で延べ約七十名の見学者がありました。

いらつしやった方々から、「いいところですね」「癒される」「この景観がいつまでもつづいてほしいです」とのお言葉や、県外からお越しの方は「東京から近いので日帰りでも来れますね」と。都心から電車でも車でも二時間ほどです。重伝建の山村集落では上条が都心から一番近い点も魅力です。県内の方は、「うちの家も以前は同じような家でした。懐かしいです」などの好印象の意見が多くありました。

見学者を迎える体制が十分でない中、上条の皆様にはご迷惑をお掛けするところもあるうかと思えます。お気づきの点はご連絡をお願い致します。

甲州民家情報館の開放

文化財課では、平日の上条集落見学者へ対応するため、情報館を管理する山梨家並保存会へ依頼し、情報館を開放していただいています。見学者を目にすることがあればお声掛けいただけると幸いです。また、これまで情報館へあまり足を運ぶ機会がなかったという方や農作業の合間の休憩など、この機会に是非情報館を訪ねてみてください。

開放期間：六月中旬まで（状況により期間延長あり）
開放時間：午前九時頃から午後四時頃まで
見学・休憩料金：無料